

[1月26日は文化財防火デー 電気火災防止コンセントで文化財を守る取組み](#)

## 「京都市指定有形文化財 長江家住宅」を電気火災から守る

受配電設備メーカーの河村電器産業株式会社（本社：愛知県瀬戸市 社長：水野一隆）は、貴重な文化財を火災から守るべく、電気火災を未然に防ぐコンセントを1月13日に京都市指定有形文化財である長江家住宅に寄贈いたしました。

当社は1919年の創業以来、電気を安全・安心に使用するための製品をつくり続けてまいりました。そこで培った技術を活かし、近年対策が迫られる「電気火災」を防ぐための製品の普及に力を入れております。

その活動の一環として2014年より、ホコリが原因で発生するトラッキング火災を独自の検出回路で防ぐ「プレトラックコンセント」を各地の重要文化財、歴史的価値のある建物・施設への設置を進めてきました。

そして今回、株式会社フージャースホールディングスが所有する、京都市指定有形文化財である長江家住宅に「プレトラックコンセント」と「住宅用分電盤」を寄贈いたしました。

長江家住宅は、間口13m、奥行54m、面積200坪余（700平米）の木造住宅です。職住一体の典型的な京町家の佇まいを今も受け継いでいることにより、2005年4月に、主屋北棟（内装除く）、主屋南棟、化粧部屋、離れ座敷、土蔵2棟の計6棟が「京都市指定有形文化財」の指定を受けています。

### 【設置場所】

玄関、奥座敷、離れ座敷、化粧部屋など

### 【設置製品】

- ・プレトラックコンセント 24個
- ・住宅用分電盤（感震ブレーカー機能付）1面

※施工の関係により実際の設置個数は変更する可能性があります。



京都市指定有形文化財 長江家住宅

今後も重要文化財や歴史的価値のある建物・施設などへの「プレトラックコンセント」の設置を推進し、電気火災の防止に貢献していきます。

◎本件に関するお問い合わせ先

コーポレートコミュニケーション室 田中 美奈

TEL : 080-8263-0073 E-mail: min-tanaka@kawamura.co.jp

## ■ ■ 参考資料 ① ■ ■

### ▼株式会社フージャースホールディングスとは

1994 年有限会社フージャースとして誕生した当社は創業 9 年 9 カ月で東証 1 部上場、その後もお客様の「欲しかった暮らし」と真摯に向き合い、お客様のニーズに応える住まいづくりに邁進してまいりました。ますます多様化するお客様のニーズに応えるため、また少子高齢化や地方の過疎化、住宅の老朽化など社会的な課題を解決する企業であるために私たちは「フージャースコーポレーション」から「フージャースホールディングス」に生まれ変わりました。

【公式 WEB サイト】

<https://www.hoosiers.co.jp/>

### ▼京都市指定有形文化財 長江家住宅とは

文政 5(1822)年、長江家三代目の大坂屋伊助が袋屋町（現船鉾町）に入町し、現在の主屋北棟部分 35 坪の土地家屋を買得、以後、その地で代々呉服卸商を引き継いでこられました。しかし、五代目の頃、元治元(1864)年、禁門の変による京都大火で家屋はすべて焼失したそうです。

その後、慶応 4(1868)年に再建（現主屋北棟）され、明治 8(1875)年には、その背面裏地に大蔵が移建されました。

明治 39(1906)年、六代目の長江伊三郎が南隣地を取得し、同 40(1907)年、同地に表屋造の主屋南棟、離れ座敷などを新築、新蔵を移建されました。その後、大正 4(1915)年に、化粧部屋、浴室を新築したそうで、それに伴い、職住機能の大半を南棟に移し、以降、江戸時代より 86 年間店舗兼住宅としていた北棟は、隠居所として利用されるようになりました。

2015 年 5 月 27 日に長江家八代目当主により、株式会社フージャースホールディングスへ継承され、現在も大切に受け継がれています。

【公式 WEB サイト】

<http://www.nagaеke.jp/index.html>

## ■■参考資料 ②■■

### ▼プレトラックコンセントとは

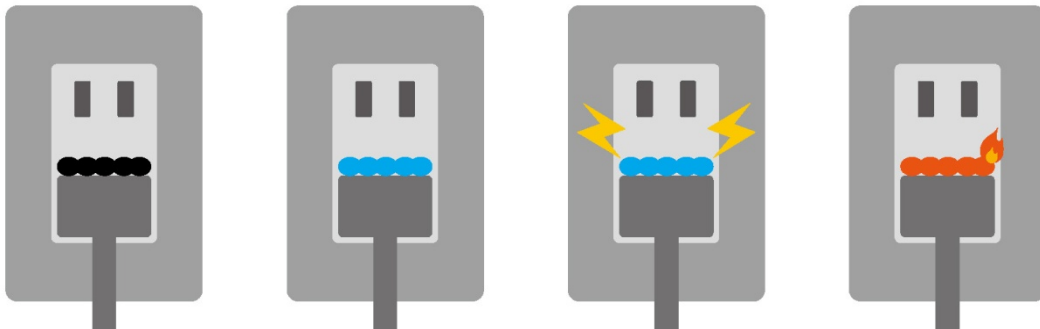
独自開発の「プレトラック検出回路」を搭載したコンセント。  
微小な放電電流を検出すると、  
電気を遮断し、アラームでお知らせしてトラッキング  
現象を未然に防ぎます。  
(2006年4月より発売)



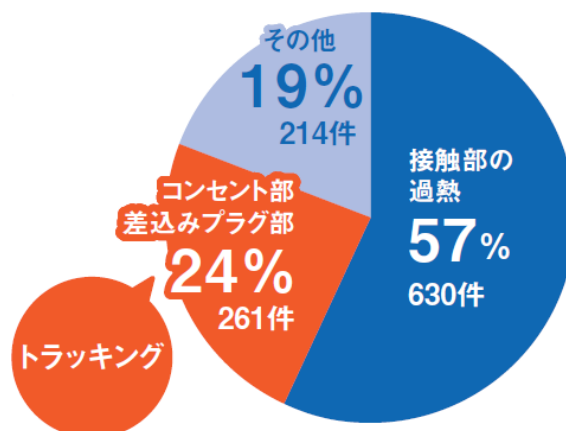
### ▼コンセントから火災が発生するメカニズム

コンセントに差し込みプラグを長期間差し込んだままにすると、プラグの周辺に「ホコリ」が溜まります。溜まった「ホコリ」に湿気が付着することで、差し込みプラグの刃の両極間に微小な放電（ショート）が繰り返されます。これを「トラッキング現象」といいます。差し込みプラグの絶縁状態が悪くなり、発熱し、最悪のケースでは発火に至ります。

- ① コンセントに差し込んだプラグにホコリが溜まる。
- ② ホコリに湿気が付着する。
- ③ 差し込みプラグの刃の間に微小な放電が発生。
- ④ 放置すると差し込みプラグより発火に至る。



### ▼差し込みプラグとコンセントの出火原因



東京消防庁「火災の実態」を基に過去10年間  
(2008年～2017年)を当社にて集計